

# 議会だより

2021.5

No.65



Memorial ひがしおうみ大花火大会

<b>C</b> ontents	新年度予算	2
	代表質問	4
	一般質問	10
	議案の審議結果	16

# 第7弾

## 新型コロナウイルス感染症対策 10億3,817万円

### ①新型コロナウイルスワクチン接種事業

6億1,600万円

感染症対策として、市民へのワクチン接種を円滑かつ迅速に実施します。

新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(予約・問合せ)

電話 0570-000-398

受付時間 平日 午前9時から午後8時まで 土・日曜日、祝日を除く

インターネット予約専用サイト  電話での予約は、混雑が予想されます。できるだけ、インターネット予約を利用してください。  
※予約専用サイトは、24時間利用可能

<https://coronawakuchin-higashiomi-shiga.com/>

### ②売上回復キャッシュレス決済ポイント還元事業

1億円

市内経済の活性化と会計時の接触機会の低減による感染防止を図り、今後需要が高まるデジタル化に市内の事業者が対応できる基盤整備を促進します。キャンペーン期間中に、市内の対象店舗において、キャッシュレス決済で飲食や買い物をした人に最大20%をポイントとして還元します。

### ③宿泊業・飲食業支援事業

1億円

緊急事態宣言などに伴う会食などの自粛により、売上が大幅に減少した市内の宿泊業・飲食業の事業者に対して、事業が継続できるように支援金を交付します。



### ④近江鉄道定期券購入支援補助金

815万円

感染症の影響による近江鉄道・路線バスの利用者数や収入の落ち込みの回復、通学時の公共交通利用促進と家計支援、さらには地域経済の好循環を図るため、市内在住の通学定期券利用者を対象に「三方よし商品券」を交付します。

### ⑤事業者向け補助金

セーフティネット資金等利子補給金

3,400万円

中小企業者事業展開支援補助金

1,000万円

肉用牛経営安定対策事業補助金

172万円

小規模事業者の雇用調整助成金等申請支援補助金

100万円

### ⑥感染症対策

幼児施設における感染症対策

2,905万円

小中学校における感染症対策

3,220万円

成人式における感染症対策

100万円



## 令和3年度一般会計予算

# 475億円

令和3年度一般会計当初予算は、今年2月に市長選挙が執行されたことから、一般行政経費を中心とした骨格予算が提案されました。議会では慎重な審議を行い、すべての予算案を原案のとおり可決しました。

政策的経費を盛り込んだ補正予算は、6月の定例会に提案される予定です。

## 4本の柱で 強く豊かな東近江市の実現へ

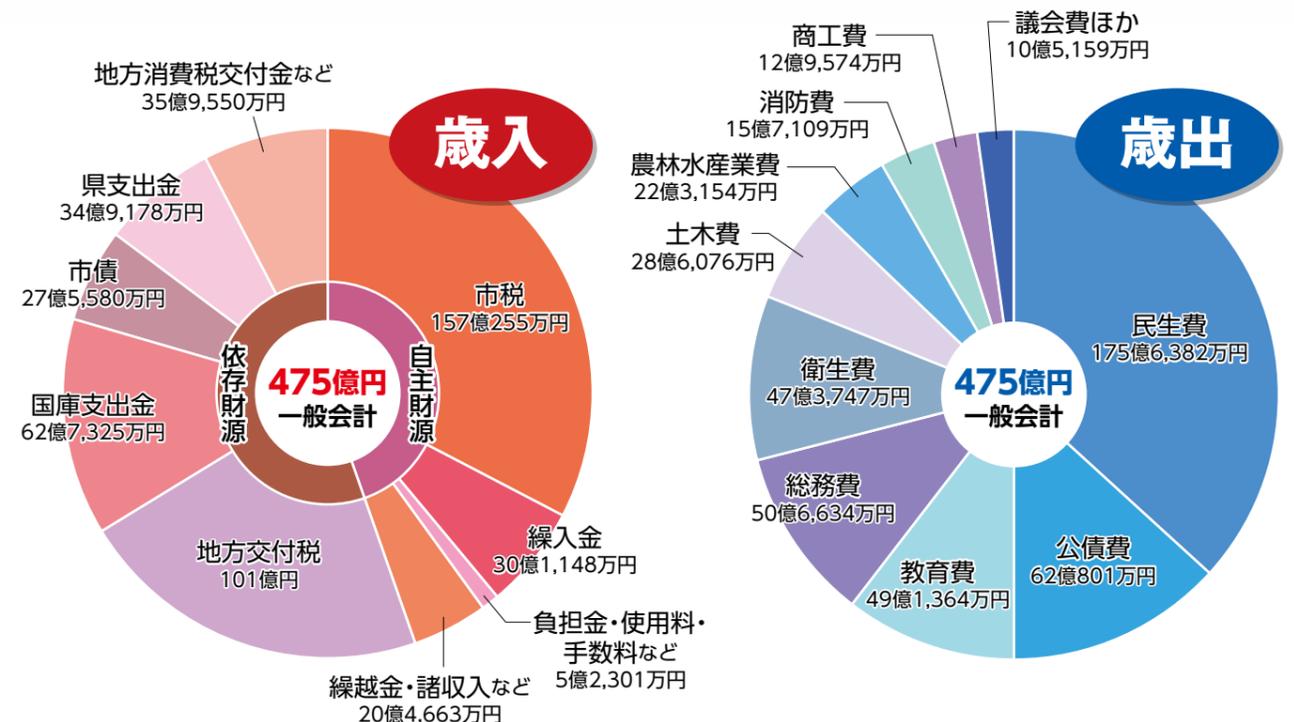
① 働き住み続けたい  
活力ある東近江市の創生

② 行きたい住みたい  
魅力ある東近江市の創生

③ 若い世代が希望をかなえる  
夢のある東近江市の創生

④ 誰もが安心して暮らせる  
豊かな東近江市の創生

### 目的別内訳





出荷を待つ地元産野菜

近未来の農業農村の理想像は

**Q** 活力ある東近江市の創生について、

①株式会社東近江あぐりステーションの現在の経営状況は。

②次世代の農業者の育成について具体的な支援策は。

③近未来の農業の姿と高収益作物のイメージは。

**A** ①今年度は全国的に大きな災害もなく野菜は豊作となり、その結果、野菜価格が大きく下落した時期もありましたが、あ

ぐりステーションでは、販売の強化と新たな販路拡大に取り組み黒字となった月もありました。現時点では今期経営計画をおおむね達成していますが、過去2年間の累積赤字もあり、さらに経営改善、販路拡大に努めていかねばなりません。

②農業の持続的な発展のため次世代担い手確保・育成支援事業などを実施しています。さらに新規就農者が求める技術習得や農地取得などを一貫して支援する体制を整え担い手を育成・確保していきたいと考えています。

③スマート農業の革新的技術が広く普及し、飛躍的な向上を遂げた生産性のもとで儲かる農業が展開され、農家が生きがいと誇りを持ち、さらに美しく豊かな農村環境が広がっている、このような姿が理想と考えます。

また、高収益作物への認識については、消費者が求める需要の高い野菜・果樹などについて、高品質化やブランド化を図り、農家の収入を大きく向上させるものと考えています。米についても、元来近江米の上質性は全国ブランドとなっており、創意

# 代表質問

3月10日に5会派が代表質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRコードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

工夫によりさらなる品質の向上を図り、ブランド化していくことが必要であると考えています。

**Q** 魅力ある東近江市の創生のうち、地域資源に磨きをかけることに對する市長の思いは。

**A** 市内には、数多くの歴史資産があるにもかかわらず、その価値に気付かないまま埋もれがちな状況にあります。それらをしっかりと磨き上げ、観光分野などに活用してこそ、保存への意識も高まると思っています。さらに、国・県との連携を強化することによりその価値を高め、国宝指定を目標に掲げるさまざまな取り組みが、本市のグランドを高めていくことにつながると考えています。

また、ガリ版伝承館や旧湖東歴史民俗資料館など、十分に活用がなされていない施設について、市の歴史を語る貴重な資料の整理や施設の耐震調査に着手する予定です。このように光が十分に当たっていない本市の歴

地域資源に磨きをかけるとは

**Q** 魅力ある東近江市の創生のうち、地域資源に磨きをかけることに對する市長の思いは。

**A** 市内には、数多くの歴史資産があるにもかかわらず、その価値に気付かないまま埋もれがちな状況にあります。それらをしっかりと磨き上げ、観光分野などに活用してこそ、保存への意識も高まると思っています。さらに、国・県との連携を強化することによりその価値を高め、国宝指定を目標に掲げるさまざまな取り組みが、本市のグランドを高めていくことにつながると考えています。

**Q** 郷土愛を育む教育の充実を

**Q** 夢のある東近江市の創生について、

①団塊世代が75歳を迎える2025年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備は。

②国を愛する教育の充実が大切と考えるが見解は。

史や文化に磨きをかけ、地域資源として活用し、郷土を愛する心の涵養、地域の活性化にもつなげたいと考えています。



活用が期待される旧湖東歴史民俗資料館

ワクチン接種の準備は万全か

**Q** 新型コロナウイルスワクチン接種は、今最優先されるべき施策である。準備体制やスケジュールは。

**A** ワクチン接種に向けた準備体制として1月25日に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を立ち上げ、19名の職員を



集団接種リハーサルの様子

配置しました。3月15日にはコールセンターを設置し、電話による相談受付を開始。3月下旬には、65歳以上の人に接種券を送付する予定です。

接種は市内4カ所、シヨップングプラザピア、旧湖東保健センター、能登川のやわらぎホール、蒲生支所において順次実施します。

今回のワクチン接種は、特別定額給付金の振込競争のように、早ければよいというものではないと認識しています。県が主導し、市町で無益な競争をすることなく、正確かつ安全に接種を進めるべきと考えています。ワクチン接種は強制ではありませんが、正しく理解した上でできるだけ多くの市民に可能な限り接種していただくようお願いいたします。



東近江市民クラブ

西崎 彰



**A** ①介護サービス基盤の整備については、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症対応型グループホームや小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービス施設の整備を引き続き図っていきま

す。人的基盤の整備については、介護職の魅力発信を行い、介護サービスの安定的な提供ができるよう、職場見学会や就職説明会の実施、また養成研修や介護ロボット、ICT導入支援などにより介護人材の確保と定着支援を図りたいと考えています。

②各教科で知識を高めることだけでなく、幼い頃から本市が持つ豊かな自然や歴史、文化に触れ、郷土愛を育むことは大切と考えており、こういった取り組みを重ねることが、ひいては国を愛することにつながっていくものと考えています。

がん治療完結率の目標値は

**Q** 豊かな東近江市の創生について、

- ①近江鉄道の新たな運行形態への移行を見据えた利用促進に対する考えは。
- ②(仮称)黒丸スマートIC周辺の土地利用のビジョンは。
- ③蒲生医療センターのがんセンター整備による東近江医療圏域のがん治療完結率の改善および他の疾病の完結率は。
- ④高等専門学校の誘致について



黒丸PAと周辺の工業団地

の考えは。

**A** ①昨年の法定協議会で近江鉄道の全線存続が決定し、令和6年度から新たな運行形態である上下分離方式に移行することになります。さらに利用促進を図るために聖徳太子(こうきよ)1400年のイベントに併せて、「近江鉄道乗車キャンペーン」などを実施し、本市の商業や観光の振興が図れるよう検討をしているところです。

②スマートICを設置することによる利便性を生かす開発ができればと考えます。設置による恩恵は、その周辺だけでなく市域全体に及ぶものと考えており、交通の分散による渋滞緩和の効果も期待できることから、スマートICを積極的にPRし、市内全域での企業誘致や定住移住施策を進めていきます。

③蒲生医療センターに建設中のがん診療棟については、8月から一部診療を開始し、本格的な稼働は10月からとなります。この施設整備の目的の一つとして、東近江医療圏域のがん治療の完結率向上があります。現在、急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺



まもなく完成するがん診療棟

炎、大腿骨頸部骨折については、県内の他圏域に比べ同等かあるいはより優れた設備、人的配置ができており、完結率が85%を超えています。がんの完結率は56%と極端に低い状況です。がん治療の完結率も85%を目標としています。

④高等専門学校が本市で開学されれば、地域の雇用対策や地方創生に大きくつながることから、市内企業の支援もいただきながら、本市への誘致に向けて努力していきます。

に、まちの情報や魅力などを伝えることができるよう情報伝達などに工夫しながら、第二のふるさととして愛着を感じ定着していただけるよう努めていきたいと考えています。

効果的な情報収集を

**Q** スマートフォンやタブレット端末、PCなどで情報を入力する手段が主流になっていくなかで、いかに情報を発信しているのか、また、求められている情報が何かをリサーチすることは大変重要である。本市の情報発信・収集の今後について、市長の思いは。

**A** 本市の発展のために大変重要な施策であることから、さまざまな媒体、手法を複合的に活用し、アナログとデジタルそれぞれの良いところをうまく活用しながら、引き続き効果的な情報発信と的確な情報収集に努めていきます。

太陽クラブ

戸嶋 幸司

人口減少社会を見据えて

**Q** 日本の総人口が減少している中で、本市の人口動向をどう捉え、どのような施策を講じるべきと考えるか。

**A** コロナによる人口への影響は、今後分析する必要があるが、若い世代の転出超過、特に県内他市町への転出については引き留めることができると考えており、住宅や公共交通施策の強化、市内での魅力ある買物や余暇を過ごす環境づくり、子育て・教育環境の充実などの対策を講じることが重要であると認識しています。

また、大学などへの進学により転出された方に対しては、卒業後、本市で働いてもらえるように多様な職種の企業誘致や創業支援の強化が必要であるとと考えています。

さらに、結婚から出産・妊娠・子育てについて切れ目のな

い支援を行い、子どもを生み育てやすい環境づくりに引き続き取り組むことで、若い世代が本市で働き住み続けてもらえるようなまちを目指したいと考えています。

**Q** 本市の総人口が減少を続ける一方で、外国籍を持つ市民の数は増え続け、県内では大津市に次ぐ3981人の方が生活されている。

今後人口減少が想定される中で、外国人労働者は貴重な戦力であり財産であると考えているが、外国籍を有する市民に対する市長の考え方は。

**A** 本市で生活される外国人の皆さんを温かく迎え入れ、安心して生活してほしいと考えています。言葉や習慣、さらには在住期間の違いなどから地域のコミュニティをはじめ市民生活においてさまざまな課題もあります。

地域社会の中で共に生活をす

東近江市の人口推移

	総人口	前年比	日本人	前年比	外国人	前年比
2008.2	118,961	481	114,627	152	4,334	329
2009.2	118,635	-326	114,409	-208	4,226	-118
2010.2	117,624	-1,001	114,195	-404	3,429	-597
2011.2	117,441	-213	114,259	34	3,182	-247
2012.2	117,206	-235	114,198	-61	3,008	-174
2013.2	116,855	-351	114,107	-91	2,748	-260
2014.2	116,012	-843	113,426	-861	2,586	-162
2015.2	115,582	-430	113,011	-415	2,571	-15
2016.2	115,270	-312	112,653	-358	2,617	46
2017.2	115,152	-118	112,424	-229	2,728	111
2018.2	114,608	-444	111,719	-605	2,889	161
2019.2	114,264	-344	111,004	-415	3,260	71
2020.2	114,266	2	110,429	-575	3,837	577
2021.2	113,619	-647	109,638	-791	3,981	144

るためにも、地域に馴染んでいただく努力が必要な一方で、国籍を問わずそれぞれの文化や慣習などの理解を深め、互いが尊重し認め合うことが大切であると考えており、行政として支援を行うことは重要であると認識しています。また、今後さまざまなイベントなどに参加を呼び掛けるよう各種団体や自治会などにも働きかけていきたいと思っています。

祖国を離れ、縁あって本市で生活している外国人の皆さん



日本共産党議員団

田郷 正



市長3期目の基本政策は

市長の基本姿勢と予算編成について、
①うそをつく、ごまかす、隠す、忖度する政治家と官僚、官僚と業者が癒着している金権腐敗政治への考えは。
②大型公共事業優先、企業優遇で市民生活を守る施策が後景に押しやられている。「福祉の増進」を掲げるのであれば、偏つ



工事が進む大型公共事業の(仮称)布引の森

た予算は見直すべきでは。

①政治家、官僚にかかわらず法律に違反していれば当然罰せられるべきで、法律の下で適正に判断されるものと考えます。
②一貫して市の発展と市民福祉の増進をめざし、経済、農業、観光振興、都市基盤整備など、10年20年先を見据えた施策に取り組んできました。偏った予算編成とは全く考えていません。

新型コロナウイルス対策は

市長が最重要課題として掲げている「新型コロナウイルス感染症対策」推進について、
①介護施設や福祉施設、保育施設関係者の定期的なPCR検査が必要では。
②ワクチン接種には高齢者や障がい者などへのきめ細かい対応や施設入所者などへの個別接種が必要では。

③売上回復キャッシュレス決済ポイント事業に1億円も予算化しているが、導入できない店舗への支援策こそが必要では。

①総合的に勘案して定期的なPCR検査実施は考えていません。
②介護施設などの入所者を最優先に巡回接種をします。
③システム導入に使える補助制度を設けています。

子ども・子育て対策は

子ども子育て対策について、
①「待機児童ゼロ・学童の整備充実」を公約しているが、待機児童解消の具体策は。
②「保育士の処遇改善と人材確保に向けた支援」を打ち出しているが、具体策は。
③定員の見直しや幼稚園での預かり保育を拡充して待機児童の解消を目指します。
④潜在保育士の掘り起こしや保育士宿舍借り上げ支援などをしていきますが、人材の確保は困難な状況です。保育士確保のためにも処遇改善を図っていきます。



公明党

吉坂 豊



副次都市拠点である能登川中心部の開発は

能登川駅周辺の人口増に対する長期ビジョンは。
本市の都市計画マスタープランでは、新快速の停車する能登川駅へのアクセス向上を図り、商業施設やレジャー施設、病院などの都市機能が充実した居住の利便性、快適性を高めることとしています。

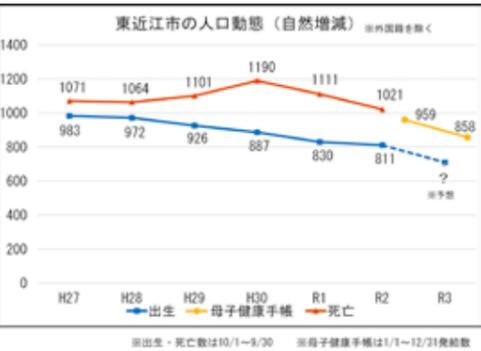


能登川駅前のマンション建設予定地

少子化、若い世代の転出超過の対策は

拍車のかかった少子化、若い世代の転出超過、子育て世代の流動化に対して強力な補正予算を組む考えは。
コロナ禍でさまざまな課題が浮き彫りになる中、地方の豊かな暮らしに目が向けられるチャンスでもあると捉えています。若い世代や子育て世代に本市の素晴らしさを呼び掛け、若い世代を意識した政策的予算を

は合わせて6園あり、来年度の入所定員572人に対して入所園児数573人を予定しています。
つどいの広場は現在、つくし児童館と能登川子育て支援センターの2カ所、受け入れには余裕がある状態です。
今後、人口の増加により、施設が不足することも考えられますが推移を注視し適切に対応します。



新政無所属の会

井上 均



地域への愛着を醸成する社会教育事業について

若者が自立、協働、創造をキーワードに学び合える社会教育事業の具体的な事例と今後の強化策は。
やまの子キャンプでは青年リーダーとして経験を積み段階に応じて活躍の場を広げてくれています。また、成人式では新成人による実行委員会が企画運営する中で、地域の人や文化に触れながら本市の良さを見直す機会となっています。

今後は、事業に関わった方たちがその経験をいかせるよう働きかけ、ネットワークを広げることでも市内のさまざまな事業につながる取り組みを検討します。
また、郷土について学び、地元行事を体験するなど、地域の中で学びや成長を支えていくことが大切と考えています。

YouTube 東近江市議会チャンネルをご覧ください！
毎年開催している「市民と議会の意見交換会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での開催に代えて、YouTubeで動画を配信しています。
今回の動画では、議員の仕事内容や各常任委員会の取り組みなどについて紹介しています。議員が手作りで動画作成をしていますので、ぜひご覧ください。





無会派

大洞 共一

**Q** 昨年9月の定例会において「職員の働き方改革の一環としてまちづくり懇談会を昼間の開催とした」と答弁があったが、行政の働き方改革は外部に求めるべきではない。昼間の開催から夜の開催に戻すべきでは。

**A** まちづくり懇談会は職員の長時間労働是正に向けた働き方改革も含め、より有意義な懇談の場のあり方を総合的に検討した上で、地域の多くの皆様のご理解をいただき現在の形としていますので、次年度以降もこの形で実施したいと考えています。

**Q** 市政功労者表彰式典と合わせて行われている教育委員会表彰について、スクールガードをはじめ、学校や児童生徒のためにボランティア活動されている方々も表彰すべきと考えるが、教育長の考えは。

**A** 感謝の気持ちを伝えることは必要であると考えており、ボランティア活動をしていただいている皆さまを対象とした表彰制度の創設については、令和3年度から行えるよう検討しています。

新政無所属の会

西澤 善三

**Q** 日本の人口がどんどん減少し本市の人口も減少する中で、将来世代にツケを残すことのないようにするべきと考える。八日市駅前市有地活用事業に1億5千万円の債務負担行為が計上されている。また能登川駅前では2億8千万円で土地開発公社が先行取得した土地において、都市化促進施設の誘致が計画されているが、スケジュールと計画内容は。

**A** この債務負担行為については、駅前ビルの1階部分を購入するためのものです。分譲マンションを含む14階建ての建物の1階部分を観光交流施設として取得し、観光案内やカフェ、トイレ、休憩スペースなどを備えることで、観光客によるお土産の購入や飲食の機会が生まれ、将来にわたって投資以上の資金を取り込んでいけると考えています。完成は令和5年3月の予定です。

能登川駅西口に土地開発公社が先行取得した土地では、駅前立地の優位性と高い利便性を生かして都市のにぎわい創出に寄与する施設の誘致を考えています。

# 一般質問

3月11日、15日に18人が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRコードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

東近江市民クラブ

青山 孝司

**Q** コミュニティバス第5次再編計画の策定に向け、現行計画の成果や課題、利用者の生活様式の変化やニーズの移り変わりなどの検証を進める時期だが、新計画へ向けた思いは。

**A** 公共交通空白地の解消を第一の目的としてきたことに加え、電子決済や予約システム、自動運転などの新しい技術を導入し、より市民生活に密着した路線計画とすることで、さらなる利便性の向上やマイカー依存からの転換を促し、利用者増を図る方針を打ち出したいと考えています。

**Q** 湖東地区まちづくり協議会の「住民自ら考え、自ら行動し、地域問題は我が事と捉え、解決に向けて進めていく」という理念から生まれたバス事業を運営するための地域まちづくり会社設立に関して市の考えは。

**A** 本市としても心強く感じています。こうした地域の取り組みを軸としたまちづくり会社設立に向けた動きは、さまざまな分野で地域により影響を広げることになり、住民の地域愛を育み、住み続けたい地域づくりにつながるものと期待します。

日本共産党議員団

山中 一志

**Q** 介護保険は「3カ年の事業計画」によって運営され、令和3年度から、その事業計画の第8期に入る。地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などの専門職が、相談業務やケアプラン作成などの支援を行う機関である。その設置は5カ所が望ましいと述べられていたが、その後の進捗は。

また、その\*ランチが各支所に配置されているが、八日市東部地区や西部地区などにも配置すべきでは。

**A** 地域包括支援センターは、現在1カ所で運営しています。第8期東近江市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における令和5年度の設置数は、3カ所を目指しており、地域包括支援センター運営協議会の意見を踏まえて検討を進めています。

また、八日市地区内のランチについても検討したいと考えています。

**\*ランチ**  
高齢者の暮らしや介護についての身近な総合相談窓口のこと。

日本共産党議員団

廣田 耕康

**Q** 市のアグリプランでは、「認定農業者、集落営農組織は地域農業をけん引する存在ですが、これらの経営体だけでは地域の農業は成立せず、兼業農家、年金受給者の農家などの多様な生産者や非農家がみんなで集落を支える必要があり、集落において多様な生産者を確保する取り組みが必要」としているが、

- ①「多様な生産者の育成」の提案の背景やイメージ、具体策は。
- ②兼業農家の役割は。
- ③認定農家や法人と兼業農家との連携の推進は。

**A** ①離農者の増加により地域農業の維持が困難になっており、大規模農家だけでなく家族経営の小規模農家など多種多様な生産者をイメージしています。具体的施策としては集落営農組織育成対策事業、野菜産地化推進事業などがあります。

②市内農家の多くは兼業農家であり、大規模農家とともに地域農業を支える役割を担っていただいています。

③作業効率の向上のため、市内でも多くの地域で作業の受委託などでの連携がされており、今後さらに拡大していくと考えています。



**Q** 地球温暖化により台風や豪雨の激甚化が進んでいる。国は水害リスクの増大に備え、堤防やダムだけに頼らず、あらゆる施設の活用や住民・企業の協力で水害を抑える流域治水への転換を求めているが、

①豪雨時に琵琶湖の水位上昇を抑制する必要性と水位に影響の大きい瀬田川洗堰の全閉操作を回避するための河川整備施策は。

②向田川は愛知川の水位上昇による逆流で過去3回大きな浸水被害を起こしてきた。浸水を防ぐ内水排除対策の内容と、市長の改善への強い思いは。

**A** ①豪雨時における琵琶湖の水位上昇の抑制は必要だと考えています。水位に影響の大きい瀬田川洗堰の全閉操作や放流制限の時間短縮を図るため、大戸川ダム建設、瀬田川改修などが検討され、天ヶ瀬ダム再開発事業と宇治川の整備が進められています。

②向田川と住宅地の間に輪中堤防を築造し、ポンプ排水により堤外に排出します。浸水は私が市長に就任した年に起こった衝撃的な被害で、再び起これば人災とまで言われてもやむを得ないという認識に立ち、対策を講じてきました。



**Q** 新型コロナウイルスワクチンとして第1弾で接種が始まっているファイザー社製ワクチンは、いわゆる遺伝子ワクチンと言われており、このタイプのワクチンは過去に承認されたことがないと聞いている。体内に初めて入れる試みとなるので、長期的にみて人体に与える影響は十分検証されているとは言えないが、

- ①メッセンジャーRNAワクチンとは何か。
- ②長期的な人体への影響についての見解は。

**A** ①薬事承認を受けたファイザー社のメッセンジャーRNAワクチンは、抗原となるタンパク質を作り出すための設計図となるメッセンジャーRNAを直接体内に摂取することで抗原タンパク質を作り出す特徴を持ったワクチンです。

②開発後1年以内であるため、その影響への見解は示されていません。なお、ファイザー社に問い合わせたところ、メッセンジャーRNAワクチンは数時間から数日で速やかに分解されるため、遺伝情報であるDNAに組み込まれるものではないと聞いています。



**Q** 東京オリ・パラ組織委員会森前会長の発言に端を発した一連の報道は何日にもわたった。発言内容についてはさまざまな意見があるが、マスコミによって一方的に追求されたことについて、一種いじめに通じるものを感じる。これら報道による子どもたちへの影響はどうだったか、またこのようなやり方は日本人の道徳心に反するように思うが、学校での道徳教育の現状は。

**A** 子どもたちはさまざまな受け止めをしたものと思っていますが、影響はそう大きなものではないと考えています。この件に限らず一人を必要以上に集中的に攻撃するという風潮は、SNSなどを介したネットいじめでも見受けられ、子どもたちにとっても大変憂慮すべき課題であると捉えています。

学校生活において生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識などの道徳性を身につけることはとても重要です。道徳は教科の授業だけで身につくものではなく、学校のあらゆる教育活動を通じて養われるべきものと認識しており、さまざまな機会を通じて指導を行っています。



**Q** 食料自給率引き上げは我が国の重要課題だが、そのためには大規模農業者の機械化支援の継続とともに、新規就農者などへのきめ細かな支援も重要と考えるが。

**A** 今後も効果のある高性能農機は国の支援によって普及していくものと思われます。本市では生産施設や機械の導入、果樹栽培などの支援に加え、小規模でも特色ある農業にチャレンジする農業者には支援を考えています。また、近畿最大の耕地面積を誇るポテンシャルを生かし、地域内連携を強化し自給率を高めたいと考えています。

**Q** (株)東近江あぐりステーションの地域内中規模流通には、包装デザインやロゴマークなど商品の付加価値を上げる業務、また一次加工業務も有効と考えるが。

**A** 大手スーパーなどに地場産コーナーを設置し、陳列やポップ広告などで新鮮・安心をアピールしています。今後、地域内中規模流通には地場農産物のブランド化や価値の見える化が必要であり、また、カット野菜の商品化などのニーズもあるため、検討していきたいと考えています。



**Q** 木地師やまの子の家の利用状況と、今後の活用については。

**A** 豊かな自然環境の中に立地する木地師やまの子の家は、合併後に改修を行い簡易宿泊所の許可を得て、市が行う事業をはじめ各種団体などがフィールドワークの場や学校の合宿研修所などに利用されてきました。食堂や厨房、浴場を備えており100名余りが宿泊でき、大きな研修室もあり宿泊研修などに最適な施設です。しかし、アクセスとなる道路が狭隘であるため十分に施設が生かしていないのが現状です。今後は、大学のサークル活動での利用など、今まで以上にPRを行うとともに、自然豊かな地の利をいかしたエコツーリズムの拠点としての活用なども検討したいと考えています。

**Q** 公設地方卸売市場の活性化を図るための施策は。

**A** 市内の飲食店などの存続に欠かせないものであり、活性化は大変重要な課題であると認識しています。開かれた市場を目指すため、おいでやす日曜市の開催、各種イベントへの出店なども積極的に行い、市場の活性化に一層努めていきます。



**Q** 鈴鹿山脈における本市のニホンジカの獣害について現状と対策、未来にあるべき理想の山の姿は。

**A** スギ・ヒノキの皮剥ぎや下層植生などの食害があり、令和元年度の被害面積は3.2haで減少傾向です。県や市がニホンジカの駆除を行っており、獣害柵の設置や樹木へのテープ巻きを実施しています。また里山周辺では奥山と同様の事業を行うほか、野生獣が出没しにくい緩衝帯整備を実施しています。

未来の理想の姿は、人と野生獣のすみ分けができている状態であり、そのためには今後においても野生獣の適正な個体数管理や森林整備による生息地の確保が必要と考えています。

**Q** 山林所有者の経営意欲の低下、相続の放置や相続人の山の知識不足により適正な管理が行われず森林資源の利用が不十分なことについての対策は。

**A** 森林経営管理制度を活用し、森林の適正な管理を推進します。また、森林資源については、建築用材をはじめ、バイオマスボイラーなどエネルギー利用のほか、登山・キャンプなどのエコツーリズム、森林と人のかかわりを学ぶ環境学習など有効活用を図っていきます。



**Q** 企業誘致について、  
①必要性は。  
②課題は。  
③進め方は。

**A** ①企業の進出によって税収の増加が図れるほか、市民の雇用および定住の促進、新規産業の創出や地域経済の活性化など、さまざまな好影響が考えられます。  
②農業振興地域の整備に関する法律、農地法、都市計画法などの法規制のない事業用地が不足していること、また、通勤アクセスや労働力の確保が課題であると認識しています。  
③市内企業、経済団体や金融機関への訪問などにて情報を掴むこと、また、新規立地のための産業用地などの問い合わせについても、企業ニーズを把握した上で公有地をはじめ民間などが所有する未利用地、空き工場などへの企業誘致を進められるよう庁内関係課と連携を図り、市内での経済循環を促すよう企業誘致に努めます。



**Q** 新型コロナウイルス感染症を収束させるために有効な手段となるのがワクチンの接種事業である。副反応への対応、相談体制、コールセンターの設置は。また、市民への周知は。

**A** 3月15日から市のコールセンターを設置するとともに、集団接種会場でも相談窓口を設置します。接種対象の方には、接種券を個別に送付します。広報ひがしおうみ、ホームページ、スマイルネット、市公式SNSなどのあらゆる手段で周知します。

**Q** コロナ禍における新年度のがん検診などの体制は。また、がんの治療により外見に変化が生じた患者さんの精神的苦痛を軽減させるためのアピアランスケアは重要と考える。治療による脱毛に対する医療用ウィッグへの購入費に対する助成制度を導入しては。

**A** 新型コロナウイルス感染症の対策を取り、集団検診回数を増やし、医療機関の個別検診も行います。

アピアランスケアへの助成制度の創設は、県の新年度予算にアピアランスサポート事業が盛り込まれていることから、市としても前向きに検討します。



**Q** すべての妊産婦に配布してきた産後ケア支援クーポン「ママサポートチケット」は、来年度新たな事業へ移行し対象者が限定的となる。不安や孤立感を抱いたり、うつ状態の中で育児を行う母親への支援策として、民間のベビー&ママ教室に対し割引チケットの発行や指導者の研修を行うなど、ママ友づくりの推進としては。

**A** ママ友を含め地域での助け合いの仕組みづくりは大切です。市でもつどいの広場やハピネスの教室などで、子育て中の母親同士の情報交換や仲間づくりが図られています。民間の取り組みは、子育て家庭のさまざまなニーズに応える受け皿として各家庭が選択して参加できる機会が増えることから、大切な場と認識しています。

**Q** 「旧八日市保健センター」は建物に名称がなく、看板設置もない。来訪者がわかるように配慮が必要では。

**A** 早急に「旧八日市保健センター」にふさわしい名称を決定し、看板を設置します。



**Q** 伊庭内湖に面した能登川水車は、1年前から止まったままである。能登川水車とカヌーランドの活性化検討のためサウンディング調査が行われたが、①調査への参加は何社か。

**A** ①5社です。  
②グランピング事業者や飲食店運営事業者などです。  
③大水車の保存活用を前提とした提案を募集したものではありません。

**Q** 市長は今議会で「若者が進学や就職で市外に出ていってもいつか戻ってきてくれるようなまちづくりが必要だ」また、「新興住宅地に文化はない」とも話された。しかし、小中高生の多くが新興住宅地で生まれ育っており、この子たちが果たして文化のないまちに戻ってくるのか。戻ってきたいと思えるだけのアイデンティティを持つためにはシンボリックな存在も必要だと考える。それが能登川地区においては大水車であり、これは動き続けなければならないと考えるが市長の考えは。

**A** 大水車は動いてなければならないと考えます。



**Q** 本市の女性の参画について、  
①審議会や委員会などにおける委員の男女構成比率の目標値と現状は。  
②人権と男女共同参画が1つの課で事業を推進している効果は。  
③男女共同参画推進のための事業内容と活動状況は。

**A** ①第2次東近江市男女共同参画推進計画では、政策・方針決定過程への女性の参画を促進するため、市の審議会などの女性委員の割合について、令和3年度末の目標を40%としています。令和元年度末の時点では33.4%となっています。  
②共通する課題も多いため、効果的な事業運営が推進できているものと考えています。  
③男女が互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、全庁的に取り組んでいます。男女共同参画をテーマとした講演会やセミナー、出前講座による意識啓発はもちろんのこと、保育サービスや介護サービスなどの充実に努めるなど、多岐にわたり取り組みを進めています。



**Q** 新型コロナウイルス感染症対策の第1弾から第6弾までの制度設計と執行状況を評価および検証し、今後の対策に生かすべきと考えるが。

**A** 国民一人当たり10万円の特別定額給付金や事業者への持続化給付金などの対策が行われる中で、感染拡大の状況や社会経済の現状を見定め、生活や仕事に不安を抱える市民や事業者などに対して、市民に最も身近な基礎自治体として取り組むべきと考える施策を講じてきました。

特別定額給付金などの緊急的な対策については迅速に対応できたと考えていますが、順調に執行できたものもあれば、助成などの利用が想定よりも少なかったものもあります。感染症や社会状況を見極めながら施策を講じていくことの難しさを感じました。

市内の感染症の発生は都市部に比べ少ないですが、企業における雇用状況や飲食業などは厳しい状況が続いていると認識しています。今後も、市民生活を下支えするとともに地域経済の回復に向け、適切な時期に適切な対策を講じていきたいと考えています。



**Q** 謄写版画家への支援とガリ版伝承事業の展望は。

**A** 個人への直接的な支援は難しいものの、活動を市ホームページで紹介するなどの支援を行います。令和3年度には、ガリ版関係資料の整理や調査に着手し、その後、有識者による文化財としての価値付けなど、ガリ版活用の基礎を作ります。

ガリ版伝承館には南極観測船「宗谷」の船内の日常を記録した「南極新聞」が収蔵されており、西堀榮三郎記念探検の殿堂とつながる資料でもあり、市内博物館の連携も図ります。

**Q** 野口謙蔵生誕120年記念事業について、県と市の連携、周知の方法は。

**A** 県立近代美術館において野口謙蔵作品の特集展示が予定されています。県とは、絵画資料の情報交換はもとより、学芸員による講演会や野口謙蔵ゆかりの地を巡る探訪事業など、相互の連携や協力を図っていききたいと考えています。

市の広報やホームページのほか、県や全国の公立美術館、過去に野口謙蔵の絵画を展示された美術館にポスターやチラシなどで情報提供し周知を図ります。

# 議案の審議結果

○…賛成 ×…反対 (市木議長は採決に加わらない)

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ											太陽クラブ		日本共産党		公明党		新政無所属		無所属						
		賛成・反対	浅居 笑	山本 直彦	青山 孝司	鈴木 則彦	西村 和恭	田井中 文三	森田 徳治	西崎 彰	西澤 由男	西村 純次	和田 喜藏	市木 徹	大橋 保治	櫻 直美	辻 英幸	戸嶋 幸司	安田 高玄	廣田 耕康	山中 一志	田郷 正	吉坂 豊	竹内 典子	井上 均	西澤 善三	大洞 共一
議案第3号 令和3年度東近江市一般会計予算	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議案第4号 令和3年度東近江市国民健康保険(事業勘定)特別会計予算	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議案第5号 令和3年度東近江市国民健康保険(施設勘定)特別会計予算	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
議案第6号 令和3年度東近江市後期高齢者医療特別会計予算	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
議案第7号 令和3年度東近江市介護保険特別会計予算	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見書案第2号 元慰安婦等による日本政府に対する損害賠償請求訴訟に関する韓国ソウル中央地方裁判所の判決に対し断固たる措置を求める意見書	可決	16・7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	

その他の議案等は全会一致で可決・同意・承認されました。 議案等の詳細は「東近江市議会」で検索してください。

## 次回 6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/30	5/31 開会	6/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 一般質問	12
13	14 一般質問	15 一般質問	16	17 予算決算 委員会	18 総務・福祉教育 子ども委員会	19
20	21 総務・福祉教育 子ども委員会	22 福祉教育子ども 産業建設委員会	23 産業建設 委員会	24	25	26
27	28 予算決算 委員会	29	30 閉会	7/1	2	3

※各日とも、午前9時30分から開始します。  
※日程及び時間は変更になる場合があります。

### 議会の傍聴

東近江市議会では皆さまの傍聴をお待ちしております。  
ご希望の方は、傍聴される当日に東近江市役所本館3階の議会事務局窓口までお越しください。

### テレビ中継

本会議の中継は東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

### インターネット中継

東近江市議会では、本会議の様をインターネットでライブ配信(生中継)・録画配信しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

### 議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だよりのアイコン



## 編集後記

コロナ一色だった令和2年度。誰しもが我慢を強いられた1年となりましたが、中でも学校行事の縮小や修学旅行の中止など、例年なら多くの思い出をつくれるはずだった小学6年生と中学3年生に向けて、3月27日に市内7カ所で花火が打ち上げられました。  
今号の表紙は、その花火を永源寺地区の会場から撮影したものです。永源寺会場からは5つの打ち上げ花火が、また、観覧場所によっては7つすべての花火を見ることができたそうです。その光景はなんとも壮大だったそうです。  
今回の夜空を彩った7つの花火のように、これからも市民や地元企業、行政が手を取り合い、一枚の大きなキャンバスに「まちづくり」という絵が描けるよう、議会も邁進してまいりたいと改めて実感いたしました。

戸嶋幸司

### もっと身近に「議会だよりを



無料アプリ「マチイロ」で「議会だよりの」配信サービスを開始しています。市の広報紙や行政情報もご覧になれますので、ぜひご利用ください。

